

2025年12月2日
双日株式会社

双日、豪州で公共交通領域に参入

～UGL交通部門の持分の50%を取得し、鉄道インフラを包括的に開発・提供する体制を目指す～

双日株式会社(以下「双日」)は、豪州を中心に鉄道・公共インフラ分野における設計・建設から運行・保守(以下「O&M」)などを手掛けるUGL Limited(以下「UGL」)交通部門の持分の50%を取得する売買契約を締結しました(以下「本事業」)。豪州などの関係当局の許認可をもって、2025年12月末までに手続きを完了する見込みです。UGLは、スペインの総合建設会社ACS Group傘下のCIMIC Group Limitedのグループ企業で、同部門の2024年の売上高は1,000億円規模です。本事業への参入を通じ、双日はこれまでアジアを中心に培ってきた設計・調達・建設(以下「EPC」)に加え、O&M領域の機能を獲得することで、包括的に鉄道関連サービスを開発・提供できる体制を目指します。

豪州は、人口増加や都市化を背景に、官民連携によるインフラ整備が進む世界有数の市場です。豪州政府が掲げる「インフラストラクチャー オーストラリア」戦略に基づき、鉄道の新線建設や都市鉄道網の拡充計画が進められており、豪州内の旅客鉄道市場規模は2025年から2030年にかけて年平均6.5%の成長率が見込まれています。(※1)

UGLの交通部門は、豪州で、鉄道O&Mサービス、鉄道車両製造、公共交通システム整備を包括的に提供するリーディングカンパニーです。1899年の設立以来、シドニー、メルボルン、キャンベラなどで鉄道やライトレール(LRT)、バス運行などの多数のプロジェクト受注実績があります。また、旅客車両のO&Mに加え、豪州内での鉱物資源輸送に不可欠な機関車・貨車の製造およびメンテナンスなど、幅広いサービスを展開できる強みを有しています。

双日は、これまで北米における鉄道車両メンテナンス事業や貨車リース事業への出資参画、インド鉄道建設事業やインドネシアのジャカルタメトロ建設事業におけるEPCを手掛け、鉄道分野の知見と実績を持ちます。本事業への参入により、EPCに加えて建設後のO&M機能を組み合わせ、鉄道関連サービスを一気通貫で手掛ける体制の確立を目指します。双日は今後、インフラ開発が盛んな豪州に加え、アジアへの面展開を視野に、事業基盤と収益規模の拡大に取り組んでいきます。

(※1)双日調べ



【UGL が設計・製造した機関車(ニューサウスウェールズ州)】

(ご参考)

【CIMIC の概要】

会社名	CIMIC Group Limited
設立	1899 年
代表者	Pedro Vicente (Chief Executive Officer)
所在地	Level 25, 177 Pacific Highway North Sydney New South Wales 2060 Australia
事業内容	建設(インフラ・鉱山・土木工事)、PPP/コンセッション(官民連携)、O&M(運営・保守)、鉄道エンジニアリングサービス
従業員数	約 3.9 万名(グループ連結)

【UGL の概要】

会社名	UGL Limited
設立	1899 年
代表者	Doug Moss
所在地	Level 8, 40 Miller Street North Sydney, New South Wales 2060 Australia
事業内容	鉄道・公共交通、資源、エネルギー、公共インフラ分野における設計、建設、O&M(運営・保守)
従業員数	約 1.2 万名(うち、交通部門は約 1,800 名)



【関連ニュース】

2025年9月11日 [北米における貨車リース事業にかかる持分譲渡について](#)

2024年8月5日 [双日、米国の貨車リペア事業会社の全株式を取得](#)

2024年4月18日 [双日、インドネシア共和国の地下鉄「ジャカルタ都市高速鉄道南北線」延伸工事における鉄道システム一式・軌道工事を受注](#)

2024年1月16日 [双日、インド高速鉄道\(ムンバイ～アーメダバード間\)の電力工事を受注](#)